

静岡県子どもの生活アンケート調査について

(静岡県健康福祉部こども未来局こども家庭課)

1 概要

県内の貧困の状況にある子どもや家庭の実態を把握し、今後の子どもの貧困対策の施策及び計画策定のための基礎資料とするため、静岡県子どもの生活アンケート調査を実施した。

2 調査の内容

調査対象	小学5年生2,500人及び中学2年生2,500人並びにその保護者5,000人計10,000人を無作為抽出	
調査期間	令和元年7月10日から8月31日まで	
調査項目	子ども	健康・生活のことについて 学校や勉強のことについて 普段感じていることについて
	保護者	世帯の状況について 子どもとの関わり、習慣について 子どもを取り巻く環境・悩みについて 各種支援・サービスについて
有効回答数(回収率)	子ども3,389件(67.8%) 保護者3,385件(67.7%)	

3 調査結果

- ・貧困世帯の子どもは学習の理解度が低く、進学先に大学等を希望する割合が少ない。
- ・貧困世帯の子どもは規則的な生活習慣が身についておらず、自己肯定感が低い傾向がある。
- ・貧困世帯の保護者は様々な悩みを有する一方、相談相手を持たない傾向がある。
- ・貧困世帯の父親の正規職員の割合は4割であり、1/4が過去1年間に生活費不足による借金経験あり。
- ・貧困世帯の子ども食堂等のニーズが高い。

○ 子どもの調査結果

調査項目	回答内容	回答割合(%)	
		貧困世帯	非貧困世帯
健康・生活のこと	就寝時間	65.5	74.8
	朝食について	74.9	87.6
学校や勉強のこと	勉強の理解度	59.5	70.0
	進学希望(子ども)	42.3	60.0
自己肯定感	普段感じていること	51.6	63.7

○ 親の調査結果

調査項目	回答内容	回答割合(%)	
		貧困世帯	非貧困世帯
世帯の状況について	過去1年の経済的困窮経験	27.4	8.5
	父親の就労形態	39.9	78.9
子どもを取り巻く環境・悩みごと	子どもに関する悩み	31.9	25.7
	相談相手の有無	76.9	86.9
各種支援サービス等	利用ニーズ	53.1	42.0
		79.2	74.6

※貧困世帯と非貧困世帯の区分方法

平成28年国民生活基礎調査(厚生労働省)における貧困区分を準用して、貧困世帯と非貧困世帯を区分。(4人世帯の場合:可処分所得250万円以下を貧困世帯として区分)